

FavorPrep™ Bacterial Genomic DNA Extraction HE Mini Kit

Cat. No. : FABD1030 (4 回分) / FABD1033 (50 回分) / FABD1034 (100 回分)

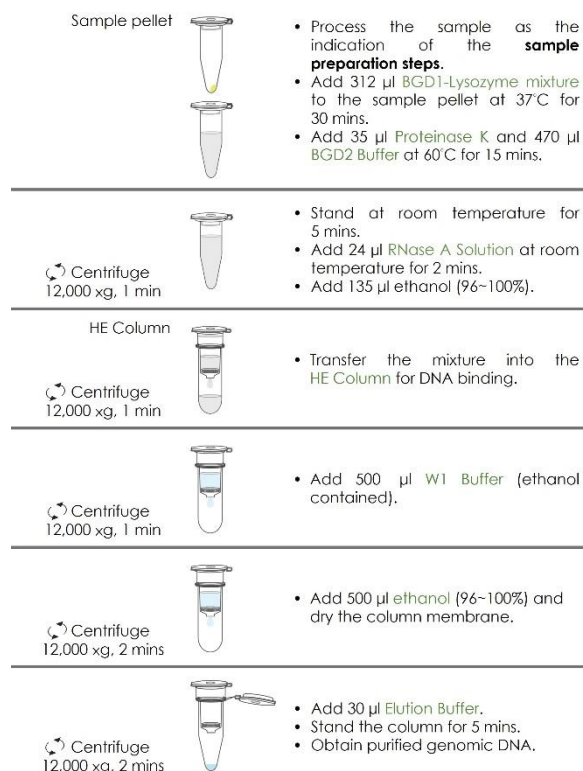
本製品は研究用です ver. 202505

● キットの内容

	FABD1030 (4 preps)	FABD1033 (50 preps)	FABD1034 (100 preps)
BGD1 Buffer	2 ml	20 ml	40 ml
BGD2 Buffer	2 ml	30 ml	60 ml
W1 Buffer (Concentrate)*	0.8 ml × 2	12 ml	24 ml
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	7 ml
Lysozyme Solution	55 μl	650 μl	650 μl × 2
Proteinase K (Liquid)	150 μl	1050 μl × 2	1050 μl × 4
RNase A Solution	100 μl	1250 μl	1250 μl × 2
HE Columns	4 pcs	50 pcs	50 pcs × 2
HE Collection Tubes	8 pcs	100 pcs	100 pcs × 2
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs
*添加するエタノール (96~100%) 量			
W1 Buffer	1 ml	18 ml	36666 ml

● 基本情報

構成	スピンカラム (シリカメンブレン)
結合量	≤125 μg DNA/column
所要時間	<60 分
サンプル量	≤5 × 10 ⁹ 個 細菌細胞 ≤2 ml 唾液、血清または血漿 ≤40 ml 尿 ≤1.5 ml 乳 1 スwab
収量	≤60 μg
溶出量	30 μl



● 重要事項

1. キットの構成品は RNase A Solution と Lysozyme Solution を除き、室温 (15~25℃) で保管してください。
2. RNase A Solution と Lysozyme Solution は受け取り次第すぐに -20℃ で保管してください。
3. W1 Buffer に指示された量のエタノール (96~100%) を加えてよく混和し、室温で保管してください。
4. 新鮮な BGD1-Lysozyme 混合液を使用するため、DNA 抽出の前にサンプル毎に 300 μ l の BGD1 Buffer と 12 μ l の Lysozyme Solution を混和させてください。
5. エタノール (96~100%) を用意してください。
6. 2 つのウォーターバスもしくはドライバスを以下の内容に設定してください。
 - ・ Lysozyme のインキュベーション用: 37℃
 - ・ Proteinase K のインキュベーションと Elution Buffer の予熱用: 60℃

● サンプルの準備

<液体 (細菌培養液、体液、および水)>

1. 最大 5×10^8 個の細菌細胞、1.5 ml の体液、水サンプルのいずれかを 1.5 ml 遠心チューブ (非付属品) に移します。
2. 14,000 $\times$ g で 3 分間遠心分離します。慎重に上清を捨て、一般プロトコルに進みます。
メモ) 試料の体積が 1.5 ml を超える場合は、遠心ステップを繰り返してください。

<スワブ>

1. 採取したスワブを 1.5 ml 遠心チューブ (非付属品) に移し、付着した細菌細胞サンプルを 300 μ l の PBS (非付属品) で懸濁し、ボルテックスで十分に混和します。
2. スワブに残った液体を取り除きます。
3. 14,000 $\times$ g で 3 分間遠心分離します。慎重に上清を捨て、一般プロトコルに進みます。

<乳>

1. 最大 1.5 ml の乳サンプルを 1.5 ml 遠心チューブ (非付属品) に移します。
2. 14,000 $\times$ g で 3 分間遠心分離します。慎重に上清を捨てます。
3. 上層のクリーム状の浮遊物を取り除き、ペーパータオルまたは綿棒を用いてチューブの側面に残る白い残留物を拭き取ります。一般プロトコルに進みます。

● 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 300 μ l の BGD1-Lysozyme 混合液を加え、ボルテックスもしくはピペッティングによりペレットを再懸濁します。
2. 37℃ で 30 分間インキュベートし、細胞壁を破壊します。
3. 35 μ l の Proteinase K と 470 μ l の BGD2 Buffer を加え、十分に混和します。
メモ) Proteinase K は直接 BGD2 Buffer に加えないでください。

4. 60℃で 15 分間インキュベートし、サンプルを溶解します。
5. 室温で 5 分間インキュベートします。
6. 24 μ l の RNase A Solution を加え、よく混ぜてから室温で 2 分間インキュベートします。
7. 135 μ l のエタノール (96~100%) を加えます。ピペッティングまたは転倒混和により優しく混合します。
8. HE Column を HE Collection Tube に取り付け、混合液を慎重に移します。
9. 12,000 $\times$ g で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、HE Column を新しい HE Collection Tube に取り付けます。
10. 500 μ l の W1 Buffer (エタノール添加) を HE Column に加えます。12,000 $\times$ g で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
11. 500 μ l のエタノールを HE Column に加えます。2 分間遠心分離し、メンブレンを乾燥させます。ろ液と HE Collection Tube を捨てます。
重要！ カラムの先端がろ液に触れないように注意してください。触れた場合は、残留エタノールを完全に除去するため、再度遠心分離してください。
12. HE Column を Elution Tube に取り付け、30 μ l の予熱した Elution Buffer もしくは ddH₂O (pH 7.5~9.0) を直接メンブレン上加えます。HE Column を 5 分間静置します。
重要！ 効率的な溶出のため、溶出液はメンブレンの中心に加えてください。
13. 12,000 $\times$ g で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。